

平成30年度第3回 医療介護連携に関する専門部会（議事要旨）

1. 日 時 平成30年11月9日（金）13:30～15:35
2. 場 所 三宮研修センター805会議室
3. 出席者 別紙名簿のとおり

4. 議事内容・主な意見

【入院連携シート（案）についての主な意見】

- 認知症で義歯を捨ててしまうことがたまにあるので、「義歯」の有無を入れて欲しい。
- 緊急時連絡先に「1. 日常」「2. 処置同意の…」となっているが、普通でも連絡先が1番と2番があることもあるので、注意書きで「処置同意の連絡先が違う場合は続柄欄に記載してください」とした方がよい。
- 「処置同意」という表現は適当なのか。
- 「処置同意」は、治療に関する説明をする上で、同意を必要とする方ということだが、もう少し端的な表現の方がよい。
→処置同意の言葉は事務局に、後で考えてもらう。
- 難聴の情報は、どこかにあった方がよい。
- 「既往歴」に、心血管疾患も含めた方がよい。
- 「急性呼吸器感染症」は違和感がある。わかる範囲でよいが、「手術歴」があればよい。
- 「在宅療養時の主疾患」がひっかかる。主治医意見書に「診断名」という項目があるのであれば、「診断名」や「傷病名」くらいが良いのでは。既往や現病を分けずに、ケアマネジャーがわかる範囲で書くので良いのではないか。
- 「在宅療養時の主疾患」は、必要な場合は前医からもらうが、前医がなかなかつかまらない場合があるため、項目としてあった方がよい。
- 「在宅療養時の主疾患」は、普段、サービス担当者会議で確認するレベルでよければケアマネジャーでも書ける。
- DNARの教育を受けていない方もいるので、記載を削除する方がよい。
→DNARはあえて入れることにする。ガイドラインで解説を詳しく書く。
- Eメールはセキュリティの問題もあるので削除すべき。
- 服薬管理の処方薬「有」のところの「()」は、スペースの都合上、薬剤名を2種類くらいしか書けないので、削除したら良い。
- 薬を見ればだいたいの疾患の予想がつくので、在宅療養時の主疾患の記載もありがたいが、お薬手帳もあれば判断しやすい。
- 医療処置内容の記載欄があればよいと思うが、胃ろうは「経管栄養」が既にある。カテーテルも「留置カテーテル」が既にある。人工肛門は「排便」のその他に該当する。在宅酸素の項目だけがないので、追加した方がよい。
- ADLのうち、移動の方法で室内の歩行距離など、以前は特記事項に自由に記載できたが、今は記載できる場所が少ないのではないか。
→入院の場合は、室内での移動方法が何か分かれば十分である。どうしても必要な情報

があれば添付してもらえばよい。

- 利用者情報を管理するためのシステムを使っている場合、入院連携シートはシステムで様式が決まっているのではないかな。
→システムに入っていたとしても、神戸市の共通様式が決まれば、ほとんどのケアマネジャーは共通様式を使うと思う。
- 「介護サービス利用状況」のところに「(予防)」と入れても良いのではないかな。居宅(要介護1以上)の場合は入院連携シートを出せば加算が付くが、予防(要支援)の場合は介護報酬が付かないということがネックになっており、あんしんすこやかセンターの職員はあまりシートを書きたがらない。しかし、元気な人が急変する場合も多く、病院側からは要支援の場合でもシートを欲しいといわれる。介護報酬の話は別として、病院としては予防(要支援)もシートの対象者に含めた方が助かるのではないかな。
- 予防(要支援)は介護報酬がないが、病院から要望があれば入院連携シートを出している。できれば介護報酬をつけていただければありがたい。
→要支援に対する対応は、自治体の判断に委ねられているので、市がお金を出すことはできるが、そこまでするかどうかという判断が必要。(事務局)
- 入院時の訪問看護サマリーと入院連携シートの項目は重複しているのかな。
→重複する部分はあるが、訪問看護サマリーは訪問看護事業所によって様式が異なる。

【退院連携シート(案)についての主な意見】

- ケアマネジャーは、退院時の看護サマリーを、いつ必要としているのかな。
→退院後に介護サービスが入る場合は、その時点でケアプランの見直しが必要である。退院の目途が付いて、ケアマネジャーがアセスメントする前に、できれば、退院前カンファレンスの時に看護サマリーをいただきたい。
- 看護師は非常に忙しいので、全ての項目を記入することは難しい。看護師が書くとすれば、無理の無い範囲で、36病院の看護サマリーのうち、例えば20病院以上にある項目を核として、その他は、病院で情報を把握できている項目をケアマネジャーに情報提供するのが現実的である。
病院は、必ず退院サマリーを書かなければいけないので、必要な情報を項目に入れて欲しいということはあると思うが、例えば退院の1週間前に、看護サマリーを必ず提出するのは負担になると思う。中小規模の病院では退院の日になってあわてて退院サマリーを書くこともある。
- 看護サマリーは、病院として記録を残すためのものなのか、紹介状みたいなものなのか。
→看護サマリーは紹介状のようなものである。
- 看護サマリーを提供することを「ルール化」とまですると、病院としてはどうなのか。
→「ルール化」は少しきつい表現かもしれないが、ケアマネジャーが必要な情報と、看護サマリーの情報は重複している部分もあるので、それは共有しても良い。
- 最近、病院から訪問看護ステーションに看護サマリーが送られず、ケアマネジャーに渡されることが多くなっている。その看護サマリーをケアマネジャーから入手することが増え

ている。

- シートの項目だけを見ると多いように感じるが、ケースによって必要な部分が違うので、項目は多くても取舍選択していけば良い。
- 概ねこの内容でよいが、細部でブラッシュアップすべきところはまだある。「導入すべきサービスと留意点」と「在宅復帰のための要件」は一つにまとめても良い。
- ケアマネジャーは、利用者の食事状況を見ることは少ないと思うが、入院中は看護師が見ているので、看護サマリーに咀嚼・嚥下などの項目を入れることで問題点も見つかってくると思う。
- 大きなコンセンサスは得られたと思うが、細部を調整する必要がある。